

令和4年度 児童・生徒質問紙の結果 概要

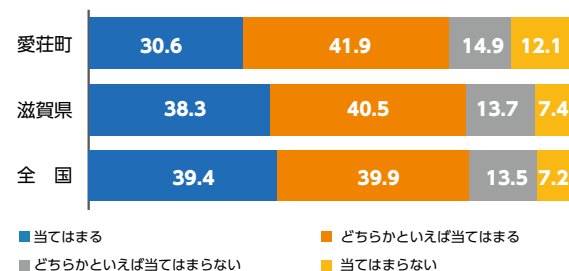
小学校

中学校

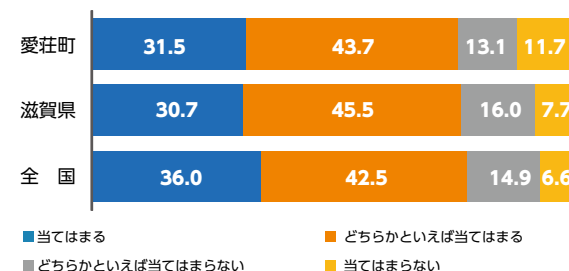
小学校

中学校

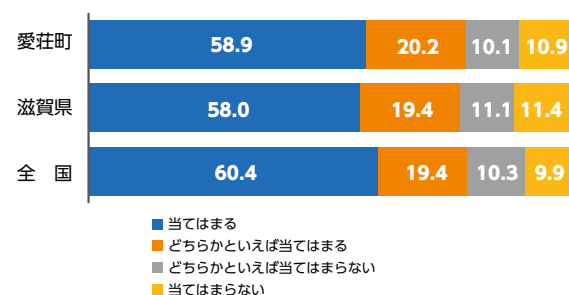
自分には、よいところがあると思いますか？



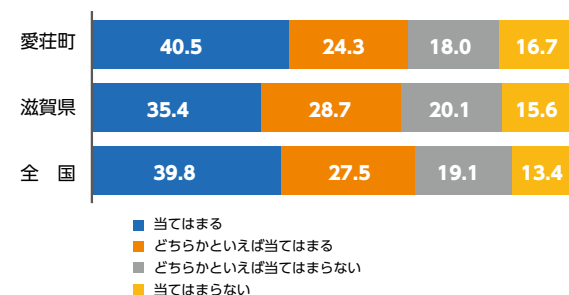
自分には、よいところがあると思いますか？



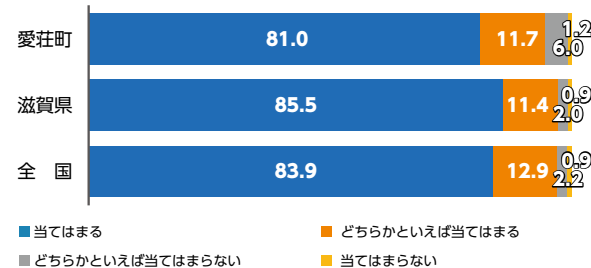
将来の夢や目標を持っていますか？



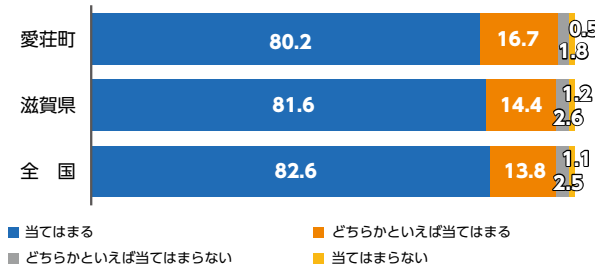
将来の夢や目標を持っていますか？



いじめはどんな理由があってもいけない



いじめはどんな理由があってもいけない



学び合い、高め合う学習集団づくりを充実させ、学ぶ意欲を高めていきます。

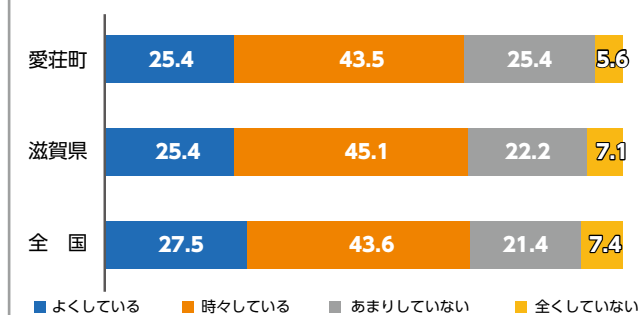
【児童生徒質問紙 結果分析より】

- 「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」の質問項目では、小中学校ともに、肯定的な回答が多かったです。
- 「いじめはどんな理由があってもいけない」という質問項目では、多くの子どもたちが「いじめはどんな理由があってもいけない」と認識していることが分かりました。

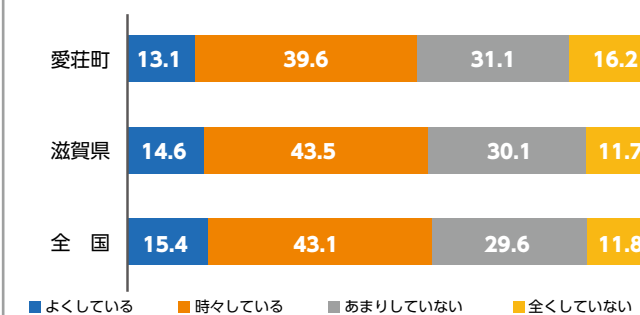
- ➡自分も周りの人もかけがえのない存在としてとらえ、豊かなつながりを求めているよう、「自尊感情の育成」の取組を今後も継続して行っています。
- ➡安心できる学習集団づくりは、「協働的な学び」ともつながっているため、今後とも学び合い、高め合える学習集団づくりを進めていきます。また、夢と希望をもって未来へ向かっていけるよう「キャリア教育」「こころざしの教育」のさらなる充実を図っていきます。



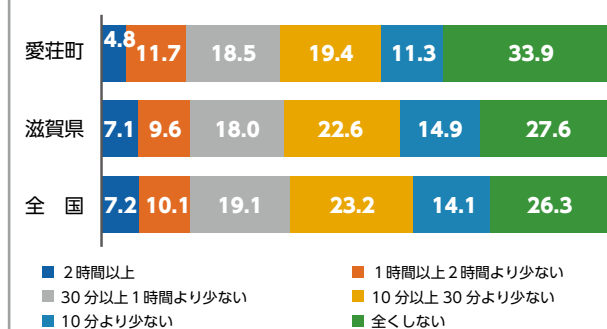
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？



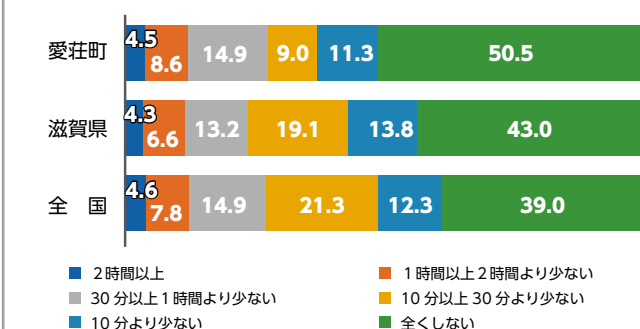
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？



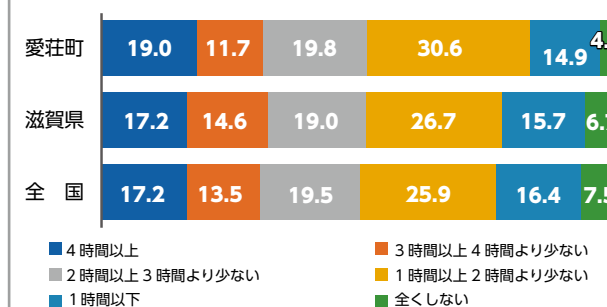
普段、1日当たりどれくらい読書を読みますか？



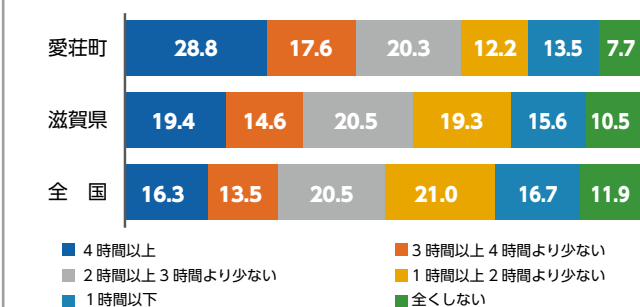
普段、1日当たりどれくらい読書を読みますか？



1日のゲーム時間



1日のゲーム時間



家庭と連携し、メディアコントロールを進め、読書や家庭学習の充実を図ります。

【児童生徒質問紙 結果分析より】

- 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」という質問項目では、「よくしている」「ときどきしている」の割合は、全国・県平均をやや下回りました。
- 「普段、1日1時間以上読書を読みますか」という質問項目では、小学校では全国平均並みでしたが、中学校では「全くしない」の割合が全国・県と比較して高く、学年が上がるごとに読書離れが進む傾向にあることが分かりました。また、小学校では、読書をよくしている児童ほど、正答率が高くなる傾向が見られました。
- 「1日のゲーム時間」の質問項目では、「2時間～4時間以上」の割合が全国よりも高く、ゲームの利用時間と各教科の平均正答率との相関関係を調べると、利用時間が長いほど、正答率が低くなる傾向が見られました。

- ➡児童生徒への家庭学習の課題の出し方等について、学校全体で共通理解し、家庭学習の具体的な取り組み方について伝えていきます。
- ➡学校図書館の効果的な活用や図書指導員との連携を通して、子どもたちに本の楽しさを伝える取組を充実させていきます。
- ➡これまでと同様に、毎週水曜日を「ノーメディアデー」として位置づけ、メディアコントロールをうながし、子どもが進んで読書に取り組める環境づくりを推進します。

